Creative Enzymes®

ヒト由来エンタロキナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-0227

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	エンタロペプチダーゼ（エンタロキナーゼとも呼ばれる）は、十二指腸の細胞によって生成され、人間や動物の消化に関与する酵素です。これは、摂取した食物が胃から移動する際に腸腺（リーベルキューンのクリプト）から分泌されます。エンタロペプチダーゼはトリプシノーゲン（ゼイモゲン）をその活性型であるトリプシンに□換し、膵臓の消化酵素のその後の活性化を引き起こします。エンタロペプチダーゼの欠如は腸の消化障害を引き起こします。
別名	エンタロキナーゼ; エンタロペプチダーゼ; EC 3.4.21.9; 9014-74-8

製品情報

種	人間
由来	CHO細胞
形態	10 mMリン酸ナトリウム、pH 7.5 + 1 mM塩化カルシウムから凍結乾燥されました。
EC番号	EC 3.4.21.9
CAS登□番号	9014-74-8
分子量	108.7 kDa
活性	タイプI、> 20ユニット/mgタンパク質
緩衝液	バイアルを開封する前に遠心分離してください。水に再構成し、濃度を0.1-1.0 mg/mlにします。ボルテックスしないでください。この溶液は2-8°Cで最大1週間保存できます。長期保存する場合は、作業用アリコットを-20°Cから-80°Cで保存することをお勧めします。
機能	ペプチダーゼ活性; スカベンジャー受容体活性; セリン型エンドペプチダーゼ活性